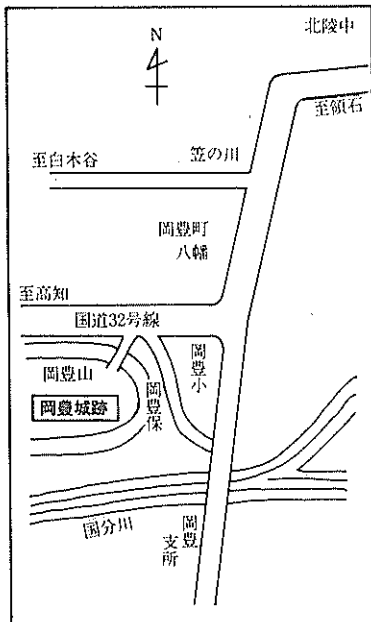
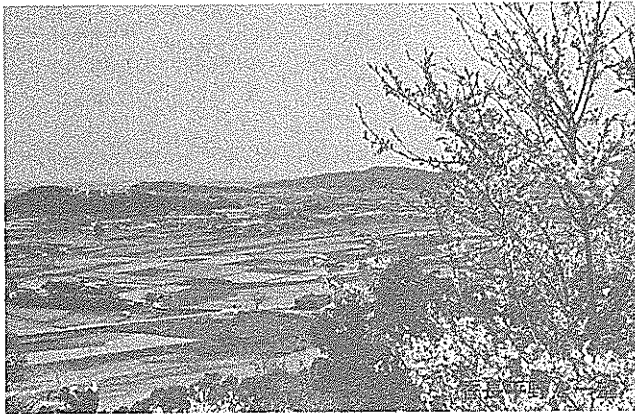


## 史跡・文化財めぐり⑫ (岡豊城跡)



県指定の史跡。秦氏代々居城のあった地であったが、とくに兼序、国親、元親の三代が名高い。中でも元親は土佐を平定、四国を統一し、さらに天下に号令しようとしたが、天正13年豊臣秀吉の軍に敗れて、土佐一國を領することを許された。天正16年（1588年）には城を大高坂に移し、さらに3年後浦戸に移したので、岡豊の地は次第にさびれた。

今も、一の丸、二の丸、三の段、四の段、うまや床、井戸、塹壕などが残っており、香長平野を一望する景勝地である。うまや床は南国市指定の史跡である。

広報 **なんこく**

**4/15** 1976 No.216

編集・発行／南国市広報委員会